

## 2021年度の年間の活動

### 1. RCAの組織としての課題の棚卸

#### 1) 組織体制強化

受賞をきっかけの一つとしてRCAの課題の棚卸、組織強化をコロナのためRCA内の少人数のワークグループで検討した。また、相鉄グループとの情報交換会を実施。次年度も継続して対策を具体化する予定。

### 2. 受賞記念イベントと住民へのRCAの情報提供強化

#### 1) 広報誌のコンテンツの強化

単なる状況報告だけでなく、主な実施項目(例えば防犯カメラ設置経緯、緑化推進の強化等)についてこれまでの活動の経緯をまとめてRCAだよりを地域の全戸(約6000戸)に配布した。



#### 2) Webinarの実施

近隣のフェリス女学院大学のオンライン学園祭で“緑園都市の生い立ち、RCAの役割等”をまとめた紹介資料をWebinarで説明した。

#### 3) 受賞記念イベントの開催

##### (1) 記念銘板の作成とイベント

受賞記念銘板を作成し、緑園都市駅前のRCAの所有する緑園都市案内板の台座に設置した。コロナのためイベントは断念したが(2)の講演会をリモートで開催した。

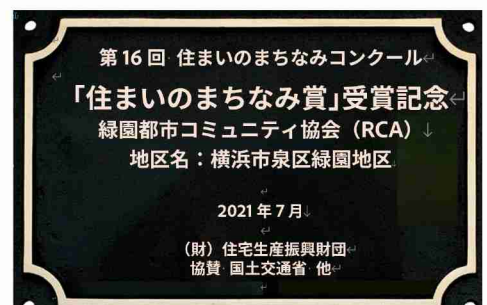
次年度は地図を住民やフェリス女学院大学から四季の径に特化したイラストを募集して更新を検討している。



##### (2) 講演会の実施

地域内部と外部から見た緑園都市とRCAの長所、課題の再確認のため、RCAの活動に詳しい横浜市立大学の齋藤広子教授に協力を依頼した。

研究室の卒論テーマとして取り上げていただくことになり、地域全戸を対象としたアンケートを実



施。20年前に先生が実施したアンケート結果と比較分析結果、姉妹都市のラドバーンの近況、他の街づくり組織の事例、街の課題の対応例などを交えた講演会を実施した。分析結果や提案を次年度の活動に取り込んでゆく予定。

### 3. 緑園都市のシンボルとしての歩行者道路を関連団体と協業して整備

次年度、義務教育学校新設され、歩行者道路（四季の径）が通学路に設定される。これに合わせ、横浜市の“みどりの街づくり事業”、関連自治会・管理組合と協業し、植栽の整備、歩道の整備を実施した。次年度も防犯カメラの追加など地域貢献をはかり、RCAの付加価値を上げたい。次年度は義務教育学校とも連携し、手作りの樹木銘板の作成と設置、植栽の維持管理の協業など、様々な活動につなげたい。



## 維持管理活動支援費の使途

- 講演会開催経費
- 受賞記念銘板の作成・設置費用
- 四季の径樹木銘板の作成・設置費用

## 近い将来取り組まなければならない課題

今年度実施内容でも記載していますが、組織強化ワークグループの検討内容、住民アンケート分析結果、講演会での提案などから改善項目の明確化と対応を具体化する必要がある。

具体的には新規住民への広報の不足、活動内容の理解の浸透、組織力の強化などがあげられる。

そのためには今年度コロナで活動できなかった連合自治会との協業に加え、今年活動の手がかりを作ることができた関連組織との継続的な協業の推進、住民を巻き込んだ維持管理の仕組み等を具体化していく必要がある。